




# 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン


## 2025年度実績（前期比）

**売上収益**  北米向け四輪車や先進国向け二輪車の増加などにより増収  
+734 億円

**事業利益**  増収はあるものの、関税コストの上昇に加え、米国パワースポーツ市場における競争環境激化を背景とした採算性の低下、増産投資に伴う固定費の増加などにより減益  
▲251 億円

## 2026年度予想（前期比）

**売上収益**  北米向け四輪車や欧州向け二輪車、新興国向け二輪車の増加などにより増収  
+472 億円

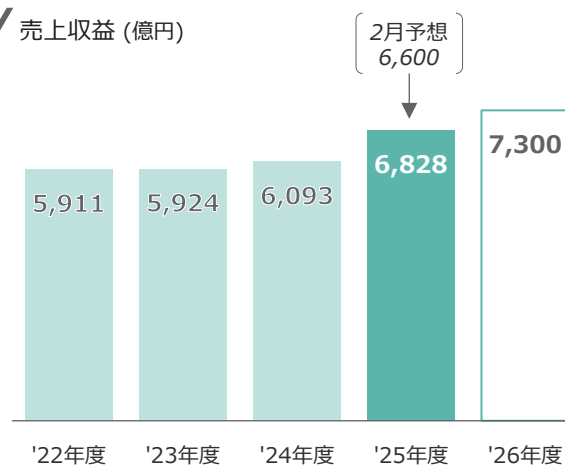
**事業利益**  中東情勢の影響はあるものの、増収により増益  
+73 億円

補足  
 米国関税政策の業績影響は、'26年5月12日時点で適用済み及び適用が見込まれる制度・税率で織り込み（但しIEEPA関税の還付については未織り込み）

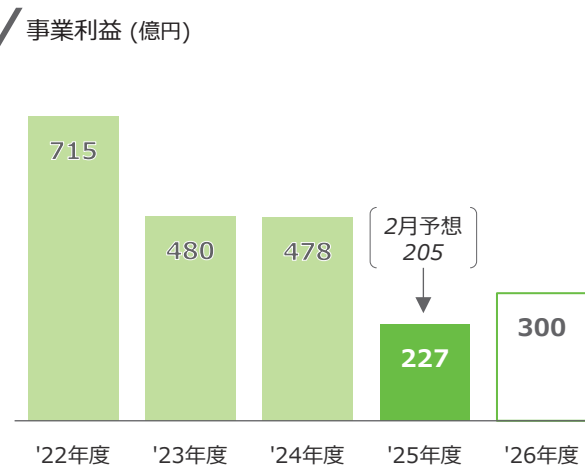
### 受注高（億円）

本セグメントは主として見込み生産を行っていることから、受注高については売上収益と原則同額としているため、定性情報およびグラフの掲載を省略しています

### 売上収益（億円）



### 事業利益（億円）



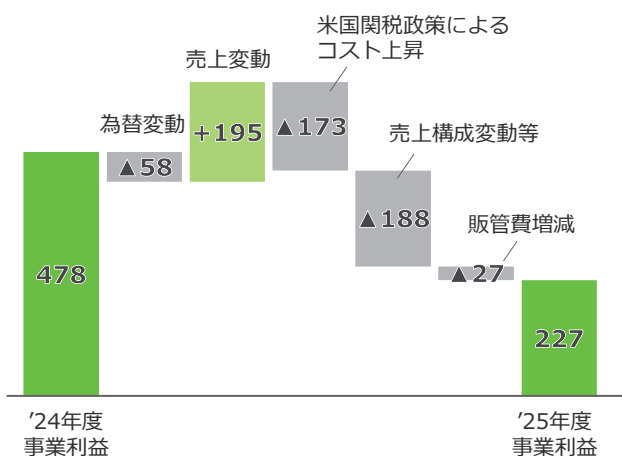
### 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

(単位：億円)

	'24年度	'25年度				'26年度	
	実績	2月予想	実績	前期比	2月予想比	予想	前期比
売上収益	6,093	6,600	<b>6,828</b>	+ 734	+ 228	<b>7,300</b>	+ 472
うち 先進国二輪車	2,453	2,500	<b>2,619</b>	+ 165	+ 119	<b>2,750</b>	+ 131
新興国二輪車	992	1,050	<b>1,026</b>	+ 33	▲ 24	<b>1,100</b>	+ 74
四輪車・PWC	1,690	2,100	<b>2,114</b>	+ 424	+ 14	<b>2,400</b>	+ 286
汎用エンジン	955	950	<b>1,067</b>	+ 111	+ 117	<b>1,050</b>	▲ 17
事業利益	478	205	<b>227</b>	▲ 251	+ 22	<b>300</b>	+ 73
	[利益率] [7.9%]	[3.1%]	[3.3%]	[▲ 4.5pt]	[+ 0.1pt]	[4.1%]	[+ 0.7pt]

#### 補足情報

#### 事業利益増減要因 (億円)



#### 地域別販売台数 (卸売)

(単位：千台)

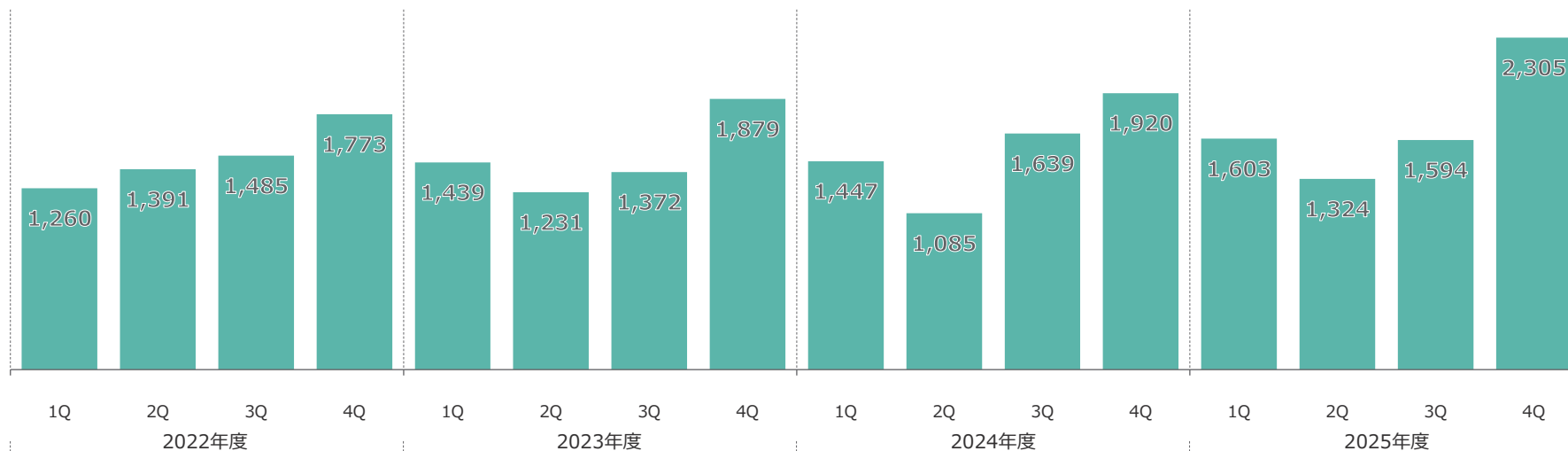
	'24年度	'25年度	増減	'26年度(予)
先進国二輪車	日本	26	+ 7	
	北米	116	▲ 10	
	欧州	81	+ 6	
	その他*	10	+ 0	
小計	234	239	+ 4	240
新興国二輪車	フィリピン	186	+ 24	
	インドネシア	19	▲ 1	
	中南米	11	+ 4	
	その他*	29	▲ 3	
	小計	246	270	+ 23
四輪車・PWC	北米ほか	70	+ 13	95

(※) 先進国二輪車および新興国二輪車の「その他」に含まれる国または地域における前年同期比増減トレンドは以下のとおり

豪州： →  
 中国： ↓  
 タイ： →

### 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



# 3 セグメント別詳細情報 - パワースポーツ&エンジン

## 事業環境・受注動向

- 米国（二輪）
  - 小売市場は軟化傾向にあるなか、当社は高いシェアを維持
- 米国（四輪）
  - 中長期的には市場成長を見込むものの、足元はローン金利や燃料価格上昇の影響を受けやすいレクリエーションモデルの販売が軟化
  - 当社は新機種投入効果やリコール影響の回復に伴いシェアを拡大
- 米国（共通）
  - 関税措置が及ぼす需要減退影響等の懸念
- 欧州
  - 新排ガス規制試行前の駆け込み需要の反動減は底を打ち、緩やかに回復。当社は販促策強化や新機種効果に伴いシェアを拡大
- 東南アジア
  - 一部地域で増加傾向が見られるも、依然としてスポーツセグメントは低水準で推移

(補足) 中東情勢の影響について

- ❖ 溶剤等の調達難による生産リスクが高まっているものの、グローバル拠点間での調達連携強化により影響の最小化を図る
- ❖ 新興国中心に燃料代高騰による需要冷え込みの可能性

## 重点施策と具体的な取り組み

- ✓ **市場動向に応じた製品の供給**
  - カワサキブランドに根差した魅力あるモデルの投入
  - 在庫水準を踏まえた機動的な生産・販売計画の策定および推進
- ✓ **四輪ビジネスの強化**
  - 北米市場に即したマーケットイン型の商品力向上と収益性改善の両立
  - 北米2工場（アメリカ/メキシコ）の効率的かつ柔軟な活用による外部環境変化への迅速な対応
- ✓ **脱炭素社会の実現**
  - 川崎重工の総合技術力を生かし、電動化や水素エンジンなど多様な選択肢でカーボンニュートラルに貢献
- ✓ **伊藤忠商事グループとの協業推進**
  - '25年4月 米国にて伊藤忠商事と合併でユーザー向けファイナンス会社Kawasaki Motors Retail Finance, LLC.を設立し、更なる事業拡大と顧客基盤強化を目指す
    - 進捗 '26年3月現在、**44州において事業開始**
    - 計画 早期の全米展開を進め、ファイナンス利用率向上と優良資産の積み上げを目指す
  - アジア・中南米・中近東・アフリカ等の新興市場における新規市場開拓等を共同推進中



国内導入予定の新モデル「KLE500 SE」